



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場会社名 株式会社バイテックホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9957 URL http://www.vitec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 今野 邦廣  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 成瀬 達一 TEL 03-3458-4619  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	110,205	30.8	1,838	11.5	1,421	1.6	860	△18.4
27年3月期第3四半期	84,271	3.7	1,649	32.9	1,398	4.3	1,053	△1.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 646百万円 (△54.8%) 27年3月期第3四半期 1,429百万円 (1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	62.90	—
27年3月期第3四半期	75.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	68,806	13,231	19.2
27年3月期	56,460	13,157	23.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 13,229百万円 27年3月期 13,155百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	22.2	3,000	23.3	2,500	24.5	1,700	19.3	124.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	14,376,358株	27年3月期	14,376,358株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	676,507株	27年3月期	727,607株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	13,672,381株	27年3月期3Q	13,948,226株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の関連事項については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月～平成27年12月)におけるわが国経済は、景気は全体として緩やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとするアジア新興国等の景気下振れや、欧州の不安定な情勢等により、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

エレクトロニクス分野におきましては、車載市場での需要が好調となっているほか、引き続きスマートフォン向けに半導体、電子部品の需要が堅調であるものの、メーカーによる減産の動きが見られる等、不透明な状況となっております。

環境・エネルギー分野におきましては、再生可能エネルギー事業については、太陽光発電事業は固定価格買取制度の見直しにより減速傾向となっており、その他の再生可能エネルギー事業への参入を検討しております。また、今春から始まる電力小売りの全面自由化や、T P Pの大筋合意を受け、将来的な農業の自由化などに対応して、企業の動きが活発化しております。

当社グループにおきましては、デバイス事業ではスマートフォン向けの新規取引として指紋センサモジュールの販売が大きく伸びたほか、パソコン向けC P Uおよびアクセサリ製品の販売が伸長しました。環境エネルギー事業では、現在までに建設した累計30か所のメガソーラーの発電収入が売上・利益に寄与しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は110,205百万円(前年同期比130.8%)となりました。利益面につきましては、経常利益は1,421百万円(前年同期比101.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は860百万円(前年同期比81.6%)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### 1. デバイス事業

デバイス事業につきましては、スマートフォン向けには指紋センサモジュールの販売が新規取引として大きく伸びたほか、カメラモジュール用イメージセンサの販売が増加しました。パソコン向けにはC P Uおよびアクセサリ製品の販売が伸長しました。自動車向けにはチューナーI C、カーナビ用液晶ディスプレイ等の販売が増加、技術開発については、車載オーディオナビ向けの開発として、スマートフォンの各種機能をディスプレイ表示させるソフトウェア開発が伸びました。調達ビジネスでは、日本国内市場においては基板を中心に販売が順調に増加し、海外拠点においては液晶の販売が見通しを大きく上回りました。今後に向けた新たな取り組みとして、V-Lowマルチメディア放送を活用したサービス・コンテンツ販売への参入、IoTビジネス向けのソリューション提案、海外企業との連携による製造設備への参入等に注力して参ります。

その結果、デバイス事業の売上高は103,334百万円(前年同期比132.5%)と伸長しましたが、為替及び低収益ビジネスの拡大による粗利益率の低下で、セグメント営業利益は、1,189百万円(前年同期比85.0%)となりました。

#### 2. 環境エネルギー事業

環境エネルギー事業につきましては、現在までに建設したメガソーラーが累計30か所(前年同期は15か所)となり、当社グループでは初となる特別高圧のメガソーラーを11月に兵庫県三田市(7MW)、12月に岩手県滝沢市(21MW:S P C方式)にて、それぞれ竣工しました。これにより発電収入が売上・利益に寄与するとともに、太陽光パネル、パワーコンディショナー等、太陽光発電ビジネス関連商材の売上が堅調に推移しました。また、新電力会社V-P o w e rでは当社グループで建設するメガソーラーを電源とした、電力の販売が大きく伸長しました。さらに新たな環境事業への取り組みでは、農業ビジネスとして秋田県大館市に完全密閉型の植物工場の建設を進めており、今春からの稼働を予定しております。

その結果、環境エネルギー事業の売上高は6,870百万円(前年同期比109.8%)、セグメント営業利益は649百万円(前年同期比259.9%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から12,345百万円増加し68,806百万円となりました。これは主にリース資産が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末から12,271百万円増加し55,575百万円となりました。これは主に買掛金とリース債務が増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より73百万円増加し13,231百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,646,710	4,054,565
受取手形及び売掛金	22,690,869	25,440,776
たな卸資産	13,787,292	17,839,189
未収入金	263,299	1,454,895
繰延税金資産	600,997	201,440
その他	554,365	713,494
貸倒引当金	△34,889	△8,139
流動資産合計	40,508,644	49,696,222
固定資産		
有形固定資産		
リース資産	9,287,266	13,094,587
減価償却累計額	△540,186	△1,059,983
リース資産(純額)	8,747,080	12,034,603
その他	3,841,401	3,835,155
有形固定資産合計	12,588,481	15,869,758
無形固定資産		
ソフトウェア	93,026	77,760
ソフトウェア仮勘定	111,100	338,298
のれん	92,366	73,719
その他	8,203	8,203
無形固定資産合計	304,697	497,981
投資その他の資産		
投資有価証券	413,293	703,560
出資金	1,791,544	616,106
長期貸付金	78,290	110,542
繰延税金資産	22,784	111,035
その他	822,096	1,268,430
貸倒引当金	△69,102	△67,239
投資その他の資産合計	3,058,907	2,742,437
固定資産合計	15,952,085	19,110,176
資産合計	56,460,730	68,806,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,380,615	15,558,367
短期借入金	10,880,968	23,180,826
1年内返済予定の長期借入金	645,000	345,000
リース債務	504,456	719,634
未払法人税等	153,646	250,897
賞与引当金	277,645	177,077
その他	1,842,335	1,638,777
流動負債合計	32,684,667	41,870,581
固定負債		
長期借入金	1,165,107	859,361
リース債務	8,493,715	11,708,392
繰延税金負債	177,463	77,463
退職給付に係る負債	261,176	255,801
資産除去債務	470,430	716,285
その他	50,873	87,220
固定負債合計	10,618,766	13,704,524
負債合計	43,303,434	55,575,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,244,234	5,244,234
資本剰余金	2,439,768	2,439,613
利益剰余金	5,397,819	5,635,046
自己株式	△555,086	△507,195
株主資本合計	12,526,736	12,811,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,537	22,412
繰延ヘッジ損益	16,105	△65,641
為替換算調整勘定	572,089	461,035
その他の包括利益累計額合計	628,732	417,807
非支配株主持分	1,826	1,787
純資産合計	13,157,295	13,231,294
負債純資産合計	56,460,730	68,806,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	84,271,460	110,205,059
売上原価	77,763,377	102,597,166
売上総利益	6,508,082	7,607,893
販売費及び一般管理費	4,858,687	5,769,063
営業利益	1,649,394	1,838,829
営業外収益		
受取利息	1,118	1,430
受取配当金	1,691	909
持分法による投資利益	58,953	95,486
その他	39,147	111,352
営業外収益合計	100,910	209,178
営業外費用		
支払利息	171,578	365,610
債権売却損	41,623	61,739
為替差損	104,425	85,493
その他	34,437	113,959
営業外費用合計	352,065	626,802
経常利益	1,398,240	1,421,205
特別利益		
固定資産売却益	2,060	—
投資有価証券売却益	29,245	—
特別利益合計	31,305	—
税金等調整前四半期純利益	1,429,545	1,421,205
法人税、住民税及び事業税	162,971	309,236
法人税等調整額	221,730	254,671
法人税等合計	384,701	563,907
四半期純利益	1,044,844	857,297
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,996	△2,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,053,840	860,047



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,044,844	857,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,375	△18,124
繰延ヘッジ損益	△41,559	△81,746
為替換算調整勘定	410,739	△111,243
持分法適用会社に対する持分相当額	9,943	189
その他の包括利益合計	384,498	△210,925
四半期包括利益	1,429,342	646,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,438,339	649,122
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,996	△2,749

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	デバイス事業	環境エネルギー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	78,012,272	6,259,187	84,271,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	78,012,272	6,259,187	84,271,460
セグメント利益	1,399,591	249,803	1,649,394

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	デバイス事業	環境エネルギー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	103,334,817	6,870,241	110,205,059
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	103,334,817	6,870,241	110,205,059
セグメント利益	1,189,529	649,300	1,838,829

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。